

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立淀商業高等学校
取り組む課題	C 授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業科におけるビジネスに関する資格取得率の向上 ・ 福祉ボランティア科における介護職員初任者研修、国家資格介護福祉士の資格取得率の維持 ・ 生徒アンケートによる心豊かな職業観の肯定的回答率の向上 ・ 連携団体や企業、行政などのステークホルダー（外部評価）による肯定的回答率の向上
計画名	生徒の真の学力を育む淀翔プロジェクト ～ 資格取得だけに留まらない持続可能な社会の創り手をめざして ～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期目標	<p>1 教育活動の充実を図り、少子高齢化社会に対応した持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）の推進</p> <p>（1） 職業教育の充実を通じて、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた人材の育成</p> <p>ア 会計科学・情報科学・流通科学・コミュニケーション科学の各コースに応じた専門的な知識、技術の習得をはかり、各種検定の資格取得をめざす。</p> <p>※ 目標：卒業時に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 流通科学コースでは全商ビジネス計算実務検定 1 級取得率 25%以上（R1：23.0%、R2：22.0%、R3：60.4%） ・ 会計科学コースでは全商簿記検定 1 級取得率 20%以上（R1：47.2%、R2：30.8%、R3：13.0%） ・ 情報科学コースでは全商情報処理検定（ビジネス情報部門） 1 級取得率 20%以上（R1：8%、R2：8%、R3：10.0%） <p>イ 「介護を必要とする幅広い利用者に対する基本を踏まえたより専門性の高い介護を提供できる能力」を身につけるために、国家資格である介護福祉士の資格取得をめざす。</p> <p>※ 目標：資格取得率介護職員初任者研修 100%を維持する。（R1：100%、R2：100%、R3：100%）国家資格介護福祉士 95%以上をめざす。（R1：100%、R2：97.3%、R3：100%）</p> <p>ウ ICT を活用した「主体的な学び」を引き出す指導方法の開発をめざす。</p> <p>エ 販売実習や介護実習での体験的な学習を通じて、働くことの本質に気づくとともに心豊かな職業観を身につける。</p> <p>※ 目標：生徒アンケートによる「販売実習（介護実習）を通じて、ビジネス（介護福祉）に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率を令和 7 年度までに 70%以上をめざす。（新規）</p> <p>（2） ICT を効果的に活用して課題探究型学習に取り組み、未来を担う人材を育む教育</p> <p>※ 目標：連携団体や地域企業、行政などのステークホルダー（外部評価）による「社会的価値がある活動である」の肯定的回答率を令和 7 年度までに 70%以上をめざす。（新規）</p> <p>ア 大規模販売実習である「淀翔モール」を通じてソーシャル・アントレプレナー（社会起業家）の育成をめざす。</p> <p>イ 健康と福祉の視点から、いつまでも住み続けられるまちづくりに向けた創り手の育成をめざす。</p>
-----------------	--

	<p>ウ ICT を活用して、学校が「ビジネス社会とつながる」と「地域福祉とつながる」ための教育実践に取り組む。</p>	
<p>事業目標</p>	<p>実業系高校の志願者数は年々減少しており、本校においても基礎学力や基本的な生活習慣が身につけていない生徒が見受けられる。だからこそ、本校では職業教育を通じて生徒一人ひとりの自己実現に向けた社会人としての必要な素養を身につけるとともに「基礎学力の充実と資格取得」の重要性が増している。さらに資格取得にとどまらず、現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、変化の激しい時代の未来を切り拓く力を身につけるために ICT を効果的に活用し、実践的・体験的な活動を通じて「地域社会に貢献できるビジネスパーソン」「超高齢社会を支える介護・福祉分野のプロフェッショナル」の育成に向けた持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）の推進を事業目標とする。</p> <p>(1) ICT を活用した基本的かつ専門性の高いビジネス教育・介護福祉教育の指導方法の開発 目標： 商業科では、流通科学コース全商ビジネス計算実務検定 1 級、会計科学コース全商簿記検定 1 級、情報科学コース全商情報処理検定（ビジネス情報部門）1 級の取得率をそれぞれ 20%以上、2 級の取得率をそれぞれ 70%以上とする。 目標： 福祉ボランティア科では、介護職員初任者研修 100%維持、国家資格介護福祉士の資格取得率を毎年 95%以上をめざす。</p> <p>(2) 専門的知識や技術をいかして、心豊かな職業観を育む体験的な学習の研究 目標： 生徒アンケートによる「販売実習（介護実習）を通じて、ビジネス（介護福祉）に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率を令和 6 年度までに 70%以上をめざす。</p> <p>(3) ICT 社会・少子高齢化社会に対応した持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）の実践 目標： 連携団体や地域企業、行政などのステークホルダー（外部評価）による「社会的価値がある活動である」の肯定的回答率を 70%以上をめざす。</p>	
<p>取組みの概要</p>	<p>整備する設備・物品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板機能付き短焦点プロジェクター一式 9 台 ・ インターフェイスボックス 9 台 ・ Chromebook 10 台（商業科および福祉ボランティア科担当教員）
	<p>取組内容</p>	<p>前年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市教育委員会校長経営戦略予算（加配配布）により、電子黒板機能付き短焦点プロジェクターをホームルーム教室に 9 台設置 ・ 観点別評価に向けて教員研修会（7 月）および教科主任会を実施（7 月～3 月） ・ ICT 委員会の立ち上げに向けて準備（有志における研究会）（4 月～3 月） ・ 商業科では、ビジネスに関する知識・技術をいかして 12 月に第 7 回淀翔モール（大規模販売実習）を開催 ・ 福祉ボランティア科では、11 月に全国福祉系高等学校教員対象にオンラインを活用して公開授業を開催 <p>初年度</p> <p>【ICT を活用した基本的かつ専門性の高いビジネス教育・介護福祉教育の指導方法の開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 委員会が中心となり、ICT 機器を活用した授業内容等の検討と教員研修を実施（4 月～3 月） ・ ICT 教育先進校に見学および校内報告会（情報共有）を実施（8 月・9 月） ・ 両学科における ICT を活用した「専門的な知識や技術が身につくわかりやすい授業」を研究（4 月～3 月） ・ 両学科における資格取得に向けた学習を通じて、主体的な学びを促す授業づくりを研究（4 月～3 月） ・ 商業科では、経営コンサルタントによる SDGs 関連の特別授業（年 2 回以上）および第 8 回淀翔モール（大規模販売実習）における集客率、顧客満足度、地域貢献度の前年度比 120%以上をめざす。 ・ 福祉ボランティア科では、介護福祉現場に関する知見を強化するため介護福祉士等の専門職による特別授業（年 2 回以上）および介護福祉に関する専門的な知識や技術をいかして「With コロナ」に対応したボランティア活動を実施（7・8 月）

		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの実施および連携団体や地域企業、行政などのステークホルダーの評価（2月） ・資格取得率、生徒アンケート、ステークホルダーの評価結果を分析し、次年度に向けた検討（3月）
	2年め	<p>【専門的知識や技術をいかして、心豊かな職業観を育む体験的な学習の研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT委員会が中心となり、ICT機器やEdtechを活用した授業や指導計画の改善と教員研修を実施（4月～3月） ・社会起業家教育先進校に見学および校内報告会を実施（8月・9月） ・両学科におけるICTを活用した「ビジネス社会とつながる授業」「地域福祉とつながる授業」を実施 →ICTコンサルタントと連携し、遠隔地（生産・製造現場、介護現場）とインターネットで繋げた実践的な授業の研究・実践（4月～3月） ・商業科では、社会起業家による特別授業（年2回以上）および第9回淀翔モール（大規模販売実習）における集客率、顧客満足度、地域貢献度の前年度比120%以上をめざす。 ・商業科では、ICTコンサルタントの支援を受けてオンラインショップ開設に向けた特別授業を開催（年2回） ・福祉ボランティア科では、介護福祉現場に関する知見を強化するため海外産業人材育成協会と連携して外国人介護福祉士候補者との交流授業を実施（10月） ・生徒アンケートの実施および連携団体や地域企業、行政などのステークホルダーの評価（2月） ・資格取得率、生徒アンケート、ステークホルダーの評価結果を分析し、次年度に向けた検討（3月）
	3年め	<p>【ICT社会・少子高齢化社会に対応した持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT委員会が中心となり、ICT機器やEdtechを活用した個別最適化された学びの研究と教員研修を実施（4月～3月） ・ESD教育先進校に見学および校内報告会（情報共有）を実施（8月・9月） ・商業科では、西淀川区役所と連携して防災をテーマとした持続可能な社会に向けた課題探究型学習を実施（9月～12月） ・商業科では、ICTコンサルタントによる特別授業を通じてオンラインショップの開設（5月～2月） ・商業科では、ICTを活用したマーケティング調査に関する特別授業および西淀川区役所と連携して第10回淀翔モールの開催における集客率、顧客満足度、地域貢献度の前年度比120%以上をめざす。 ・福祉ボランティア科では、西淀川区社会福祉協議会と連携して持続可能な社会に向けた課題探究型学習を実施（9月～11月）および介護の日の啓発活動の開催（11月） ・福祉ボランティア科では、高齢者の心豊かな生活を支えることをテーマとした教科横断型授業を実施 ・生徒アンケートの実施と評価および連携団体や地域企業、行政などのステークホルダーの評価（2月） ・3年間の総括として公開授業・実践発表会の開催および研究成果について他校への普及 ・3年間の資格取得率、生徒アンケート、ステークホルダーの評価結果を分析し、総括的評価を実施（3月）
	取組みの 主担 ・実施者	<p>主 担：校長、教頭、首席、教務主任、商業科長、福祉ボランティア科長、ICT委員会 実施者：商業科教員および福祉ボランティア科教員を中心とする全教員</p>
	初年度	<p>1 資格取得率</p> <p>（1）商業科では卒業時に流通科学コース 全商ビジネス計算実務検定1級、会計科学コース 全商簿記検定1級、情報科学コース 全商情報処理検定（ビジネス情報部門）1級の取得率をそれぞれ15%以上、2級の取得率を65%以上とする。</p>

成果の検証方法と評価指標		<p>(2) 福祉ボランティア科では介護職員初任者研修 100%、国家資格介護福祉士取得率を95%以上とする。</p> <p>2 心豊かな職業観を育む体験学習</p> <p>(1) 生徒アンケートによる「販売実習(介護実習)を通じて、ビジネス(介護福祉)に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率を60%以上をめざす。</p> <p>3 持続可能な社会の創り手を育む教育(ESD)</p> <p>(1) 連携団体や地域企業、行政などのステークホルダーによる「社会的価値がある活動である」の肯定的回答率を60%以上をめざす。</p>
	2年め	<p>1. 資格取得率</p> <p>(1) 商業科では卒業時に、流通科学コース 全商ビジネス計算実務検定1級、会計科学コース 全商簿記検定1級、情報科学コース 全商情報処理検定(ビジネス情報部門)1級の取得率をそれぞれ18%以上、2級の取得率をそれぞれ68%以上を目標とする。</p> <p>(2) 福祉ボランティア科では介護職員初任者研修 100%、国家資格介護福祉士取得率を95%以上とする。</p> <p>2. 心豊かな職業観を育む体験学習</p> <p>(1) 生徒アンケートによる「販売実習(介護実習)を通じて、ビジネス(介護福祉)に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率を65%以上をめざす。</p> <p>3. 持続可能な社会の創り手を育む教育(ESD)</p> <p>(1) 連携団体や地域企業、行政などのステークホルダーによる「社会的価値がある活動である」の肯定的回答率を65%以上をめざす。</p>
	3年め	<p>1. 資格取得率</p> <p>(1) 商業科では卒業時に、流通科学コース 全商ビジネス計算実務検定1級、会計科学コース 全商簿記検定1級、情報科学コース 全商情報処理検定(ビジネス情報部門)1級の取得率をそれぞれ20%以上、2級の取得率をそれぞれ70%以上を目標とする。</p> <p>(2) 福祉ボランティア科では介護職員初任者研修 100%、国家資格介護福祉士取得率を95%以上とする。</p> <p>2. 心豊かな職業観を育む体験学習</p> <p>(1) 生徒アンケートによる「販売実習(介護実習)を通じて、ビジネス(介護福祉)に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率を70%以上をめざす。</p> <p>3. 持続可能な社会の創り手を育む教育(ESD)</p> <p>(1) 連携団体や地域企業、行政などのステークホルダーによる「社会的価値がある活動である」の肯定的回答率を70%以上をめざす。</p> <p>4. 3年間の研究成果について他校への発信・普及</p> <p>(1) 公開授業・実践報告会の実施、HPでの発信および他校への指導助言</p>